令和6年度 第4回全体庁議（8月2日開催）

区分	審議・報告	案件名 (担当部)	(4) 第3期帯広市まち・ひと・しごと創生総合戦略（骨子案） について[政策推進部]
----	-------	--------------	---

■ 提案・報告の趣旨

第2期帯広市まち・ひと・しごと創生総合戦略(令和2年度～令和6年度)は今年度が最終年度であり、これまでの取り組みの総括評価を行ったうえで、新たな総合戦略の策定に向けて考え方をまとめたことから、8月23日の総務委員会にて報告を行うもの。

■ 提案・報告の主な内容(概要)

1 序論

・策定の趣旨

社会・経済の変化を見据えながら、これまでの取り組みの成果や課題、今後の人口推移の見通しを踏まえ、第3期総合戦略を策定する。

・計画期間

令和7(2025)年度から令和11(2029)年度までの5年間とする。

・位置づけ

まち・ひと・しごと創生法(平成26年法律第136号)第10条に規定された「市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略」として、第七期帯広市総合計画や各分野計画と連動しながら、総合的かつ効果的な人口対策を推進するための基本的な計画として位置付ける。

2 現状と課題

・仕事づくりを起点として、子育て支援や安全安心な環境づくりなどの取り組みを総合的に進めてきたことで、道内では比較的緩やかな人口減少で推移している。また、個人所得や地価も上昇傾向にあるなど、地域の活力は徐々に高まっているものと捉えている。

・価値観が多様化し、結婚・出産・子育てに対する意識が変化する中、全国的に少子化が進行しており、帯広市においても令和2年度人口ピジョンで展望している合計特殊出生率2035年1.80、2045年2.07の実現は、難しい状況にある。

3 取り組みの基本方針

・十勝の大規模農業とその周辺産業を基盤に、海外を視野に域外から稼ぐ力を高め、新しい価値を創出し地域の魅力ある仕事づくりと、地域経済の活性化をはかる。

・都市の豊かなみどりやデジタルの力を活かしながら、人口減少下においても、快適に暮らせる生活環境の充実をはかる。

・これらの取り組みを通じ、誰もが幸せを感じ、ここに住みたい、住み続けたいと思える活力ある地域社会の実現をめざす。

○ 今後の取り組みの方向性

・以下の4つの基本目標の基に、取り組みの柱を設定する。

1. 新たな「しごと」を創り出す ①農業・食関連産業等の振興、②産業基盤の強化、③産業人の育成

2. 十勝・帯広への「ひと」の流れをつくる ①移住・定住の促進、②地域特性を活かした“十勝観光”の展開

3. 結婚・出産・子育ての希望をかなえる ①結婚・出産を支える環境づくり、②子どもを安心して育てられる環境づくり

4. 快適でいきいきと暮らせるまちをつくる ①支え合いの地域づくり、②快適な都市環境の確保、③市民活動の活性化、

④市民サービスのデジタル化

■ 今後のスケジュール

・令和6年8月23日 総務委員会へ報告

・令和6年11月 総務委員会へ原案を報告

・令和6年12月 パブリックコメントを実施

・令和7年2月 総務委員会へパブリックコメント結果・最終案を報告

■ 審議結果

・同内容で、8月23日総務委員会へ報告することで了承された。

■ その他、指摘事項等

・特になし